

# 資源開発

平成30年9月4日(火)  
～5日(水)

10:00～16:00

(受付開始 9:30～ / オリエンテーション 9:50～ )

いわて県民情報交流センター アイーナ 7階  
岩手県立大学アイーナキャンパス 学習室1

◎受講定員 : 45名(受講料無料)

◎申込方法 : 別紙「受講申込書」にてお申し込みください。

◎申込期限 : 8/27(月)

※ 受講定員に達し次第募集を締め切らせて  
いただきます。



# 岩手における

## 地域福祉の「資源開発」を考える

近年、介護保険や生活困窮者対策等の制度改正の中で、制度の対象とならない人々の受け皿づくりを進めていくことが求められています。しかし、もともと人や施設、NPO等の「資源」に乏しい地方では、地域で新たな「サービス」を開発することには困難さを抱えざるを得ません。「高齢者ばかりの過疎地域でどうすれば見守りネットワークが作れる?」「頼りにできる福祉施設もない中でどうやって自立支援プログラムを作ればいいのか」こうした悩みが、地域福祉の現場からは寄せられています。

本研修では、地域でいわゆる「資源開発」に取り組んでいくための基本的考え方と取り組みのコツを、経験豊かな講師陣による講義と実践事例報告、ワークショップを通じて学びます。

皆様のご参加をお待ちしております。

### ～ 資源開発プログラム ～

#### 1日目 9月4日(火)

10:00～12:00 講義

「地域福祉における『資源開発』とは何かー基本的な考え方と手法」

(12:00～13:00 昼食・休憩)

13:00～16:00 講義・演習

実践報告とパネルディスカッション  
「農村地域における資源開発」

#### 2日目 9月5日(水)

10:00～12:00 講義・演習

実践報告とパネルディスカッション  
「地域福祉におけるコミュニケーションを考える」

(12:00～13:00 昼食・休憩)

13:00～16:00 グループワークと講義

「それぞれの現場で、明日から取り組む資源開発のプランニング」

### ～ 講師紹介 ～

関西学院大学人間福祉学部

教授 藤井 博志 氏 (社会福祉学博士・社会福祉士)

【専門分野】地域福祉論・地域福祉実践・コミュニティワーク

◎市民・住民の地域福祉活動に関する研究

◎コミュニティワーカー養成に関する研究

◎在宅老所などの日本的コミュニティケアに関する研究

アクションリサーチ、フィールドワークを方法として、現場にコンタクトし、現場と実践開拓しながら研究することをモットーとしている。

【近年の主な著書】

『地域福祉のすすめ方』(監修)CLC 2015年

『地域共生の開発福祉』(共著)ミネルヴァ書房2017年

『地域再生と地域福祉』(共著)ミネルヴァ書房2017年

『地域福祉の現状と課題』(共著)放送大学振興会2018年

『よくわかる地域包括ケア』(共編著)ミネルヴァ書房2018年 そのほか著書多数

※実践事例報告者 9/4 山形県飯豊町社会福祉協議会 飯澤 成三 氏  
9/5 NPO法人ハンズオン埼玉 西川 正 氏